

市民公開講座 2026

小児がん経験者の キャリアプラン について考える

治療後のキャリア構築を
一緒に考えませんか



誰でも参加OK!
患者・家族・医療者など
どなたでもご参加いただけます



オンライン配信

日時

2026. 9.16 水
18:30-19:30

主旨

医療の進歩により、小児がんの長期生存者は年々増えています。小児がんを経験した方は、がん治療そのもののだけでなく、晩期合併症などの影響を受けながら、進学、就労、人間関係、妊孕性など、治療後の長い人生の中でさまざまな課題と向き合うことになります。

病気の経験を抱えながら社会の中でどのように生きていくかという視点から考えます。文部科学省では、小学校から高等学校までのキャリア教育の一環として、自らの学びや経験を振り返り、将来につなげるための「キャリア・パスポート」の活用が進められています。本講座でも、このような「これまでを振り返り、これからを考える」という考え方を手がかりに、小児がん経験者のキャリアについて考えます。

小児がん経験者、医療者、支援者それぞれの立場から、病気を経験した後の人生や支援のあり方について、市民の皆さまとともに考える機会となれば幸いです。

開催概要

<開会の挨拶>

国立国際医療センター
病院長 宮崎 英世

<基調講演>

「小児がん経験者のキャリアプラン」

聖路加国際病院 AYA サバイバーシップセンター
橋本久美子

<パネルディスカッション>

モデレーター

国立国際医療センター総合診療科 移行支援外来 谷山 智子

パネリスト

聖路加国際病院 AYA サバイバーシップセンター 橋本久美子
国立国際医療センターがん相談支援センター 中山 照雄

<閉会の挨拶>

国立国際医療センター
がん総合診療センター長 清水 千佳子

参加無料
事前申込制

〓 お申込みはこちら〓



- ① 二次元コードを読み取る
- ② 申込フォームに入力
- ③ 当日視聴用 URL を受信
(メールにてご案内します)

https://zoom.us/webinar/register/WN_SXM7NDWbR2Gs1WnUuORd7g

定員はありません。どなたでもご参加いただけます。

主催

国立健康危機管理研究機構 (JIHS) 国立国際医療センター がん総合診療センター
がん診療連携拠点病院機能強化事業 / AYA 支援チーム * 関連イベント

*AYA 支援チーム: 医師・看護師・ソーシャルワーカー・心理士など、
多職種が協働し、AYA 世代がん患者・小児がん経験者の支援をしています

お問い合わせ

国立国際医療センター AYA 支援チーム 03-3202-7181(病院代表)
<https://forms.cloud.microsoft/r/8MJAbYh0ud>

